

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆訪日外国人客、3月は3.5%増の361万人 中東客は3割減

・日本政府観光局が発表した3月の訪日外国人客数は前年同月比で3.5%増の361万8900人。3月の最多を更新。中東情勢悪化による航空機の欠航などが響き、中東客は30.6%減の1万6700人。中国客は29万1600人と55.9%減少。中国政府の渡航自粛要請で4カ月連続で前年同月を下回った。訪日客1～3月の消費額2兆3378億円。前年同期比2.5%増。

◆3月の消費0.6%減 カード決済データ、宿泊・百貨店振るわず

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく3月の消費データを発表。名目で前年同月比0.6%減。2月は1.1%増。外食が4.9%増と前月の6.0%増から伸びが縮み、宿泊は2.4%減と振るわなかった。小売りは0.7%増で前月からほぼ横ばい。ECが2.3%増とプラスに転じた。百貨店は1.5%減とマイナスになった。

◆非上場株の相続評価見直し、国税庁が過度な節税抑止 一部は増税に

・国税庁が非上場株の評価方法を見直す方針。相続時に評価額を意図的に下げ、税負担を軽くするケースが相次いでいた。適正な課税が狙いだが一部で相続税の負担が増す可能性がある。中小・零細企業の事業承継を妨げないバランスある制度設計が求められる。有識者を集めた検討会を4月中に設置。年内に議論を進め、2027年度税制改正で調整。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆国交省、中東情勢受け完了検査の柔軟な運用求める

・国土交通省住宅局は行政庁や指定検査機関、登録省エネ適判機関などに対し、中東情勢による建材・設備の価格上昇や調達難を踏まえ、完了検査を柔軟に運用するよう通達(国住指第38号、国住参第239号)を发出。「軽微な変更」に該当する場合、完了検査申請書に変更内容が記載されていれば速やかに完了検査を実施するよう要請。

◆2月の機械受注13.6%増、2カ月ぶり増加 基調判断「持ち直し」維持

・内閣府が発表した2月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる民需(船舶と電力除く季節調整済み)は前月比で13.6%増の1兆1159億円。増加は2カ月ぶり。比較できる2005年4月以降で最大。隔月で増減を繰り返している状況にあり、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」で据え置いた。3カ月移動平均は7.5%増。

◆パナソニック、「SANYO」でベトナム中間層攻略 約10年ぶり復活

・パナソニックホールディングスはベトナムで旧三洋電機の「SANYO」ブランドを復活。エアコンの新製品に「SANYO」を冠し、現地で中価格帯となる品ぞろえを増やす。「Panasonic」との2ブランド戦略で市場シェアを高めることを狙う。パナソニックは2011年に三洋電機を完全子会社化。翌年三洋の白物家電事業を中国の海爾集団(ハイアール)へ売却。

《 注目商品 》

■YKK AP、スクエア形状のポスト・宅配ボックス一体型機能ポール

・シンプルなファサードを提案する新しいエクステリアシリーズ「オルフェス (allFACE)」。スクエアフォルムと洗練されたディテールの郵便ポスト・宅配ボックス一体型機能ポール「オルフェス ポストユニット」を6月1日発売。水平・垂直ラインのシンプルな外観に調和するエクステリアシリーズ。



■三和シャッター工業、手動窓シャッターをシャフト交換だけで電動化

・既設の手動窓シャッターを電動化する「マドモアチェンジ」に新モデルを追加。従来のモデルではシャッターボックス内に別置開閉機の設置スペースが必要だったが、新モデルは開閉機を内蔵したシャフトの交換だけで電動化でき、窓シャッターの電動化が可能。



■永大産業、リビング・廊下に適したフルフラット収納

・リビングや廊下など生活動線に馴染む収納製品として「エフエフウォール」を発売。壁と扉がフラットで枠が見えないノイズレスな「開き戸」と、棚板設置が容易な「内部収納」をラインアップ。開き戸はプッシュオープン仕様で、取手のないフルフラットデザインを採用。

